

北里柴三郎 細菌学者。血清療法の基礎築き、世界屈指の伝染病研究所を設立。初代の慶大医学部長・日本医師会会長。

きたざとしばさぶろう

万次郎帰国・1852 = 肥後国阿蘇郡北里村で長男に生まれた。

ペリー来航・1853 = 1歳：

桜田門外変・1860 = 8歳：

遣欧使節・・・1861 = 9歳：

明治維新・・・1868 = 16歳：

戊辰戦争終・1869 = 17歳：_藩校時習館に入学したが、

初の日刊新聞1870 = 18歳：

廃藩置県・・・1871 = 19歳：_廃藩置県で閉鎖されたため、熊本医学所病院に移り、オランダ医官マンスフェルトの指導を受ける。

学問のすすめ1872 = 20歳：_改称されて熊本医学校となり、その塾監となる。

明治6年政変 1873 = 21歳：

佐賀の乱・・・1874 = 22歳：_マンスフェルトの辞任とともに、退校して上京、

初の民間工場1875 = 23歳：_東京医学校に入学。

西南戦争・・・1877 = 25歳：東京大学医学部と改称され、

琉球処分・・・1879 = 27歳：

明治14年政変1881 = 29歳：

岩倉具視没・1883 = 31歳：男爵松尾臣善の次女と結婚後、卒業。

秩父事件・・・1884 = 32歳：内務省衛生局東京試験所に勤務。

内閣発足・・・1885 = 33歳：

_ドイツに留学。

_R.コッホに師事して細菌学の研究に専念し、

初の対等条約1888 = 36歳：

帝国憲法発布1889 = 37歳：_破傷風菌の純培養に成功。

帝国議会始・1890 = 38歳：_E.vonベーリングとともにジフテリアおよび破傷風の抗毒素を発見し、血清療法の基礎を築いた。

足尾鉞毒始・1891 = 39歳：_この業績に対し、医学博士の学位を得るとともに、欧米諸国から招聘が相次いだ辞して、

大本教・・・1892 = 40歳：_帰国。しかし国内には彼を受け入れる機関がなく、福沢諭吉の援助で芝公園内に伝染病研究室が設けられ、大日本私立衛生会の所属として日本で最初の伝染病研究所(伝研と略称)が創立され、所長に就任。

郡司千島探検1893 = 41歳：_愛宕町に新築移転。所員に秦佐八郎や志賀潔を擁し、_世界的にも屈指の研究所となって行く。

日清戦争始・1894 = 42歳：_香港に発生したペスト病調査に派遣され、現地にてペスト菌発見を公表するが、この北里菌をめぐって、

白馬会・・・1896 = 45歳：

Bushidou・・・1899 = 47歳：_この年まで論争がつづく。また、伝研は国立の研究機関となり内務省の所管のもとにおかれる。

日露戦争終・1905 = 53歳：

満鉄発足・・・1906 = 54歳：_帝国学士院会員。

明治天皇没・1912 = 60歳：

第一次大戦始1914 = 62歳：_さらに文部省の監督下に移り、東京大学の付属機関となるにおよんで、北里所長以下全職員が辞職し、私立北里研究所(芝白金三光町)を興す。

21ヶ条要求・1915 = 63歳：

民本主義・・・1916 = 64歳：_慶応義塾大学医学部が創設されると医学部長に招かれ、官学に対する独自の学風を築く。

ロシア革命・1917 = 65歳：_貴族院議員に勅選。

原敬首相暗殺1921 = 69歳：

関東大震災・1923 = 71歳：_日本医師会創立とともに会長に推され大きな影響力をもち、

護憲三派圧勝1924 = 72歳：_男爵を授けられた。

共産党事件・1928 = 76歳：_慶応大学を辞職。

満州事変・・・1931 = 79歳：_没した。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、